

ふれあいひろば

第30号

2019年10月15日発行 発行者 四中地区市民委員会 文化広報部

四中地区：人口 23,350 人 男 11,508 人 女 11,842 人 世帯数 10,224 世帯 R元 .9.1 現在



チャレンジクラブ：国体炬火採火式(四中地区の火)と火おこし体験の様子(左上)

令和という新しい時代がスタートした節目の年に、公民館館長という大役を務める機会を頂いた事は、本当に身の引き締まる思いです。

報道等で示されているように、令和とは日本の最も古い和歌集「万葉集」から採用されたもので、人々が美しく心を寄せ合う中で人を大切に想う事や、見事に咲き誇る梅の花のように国民一人ひとりが明日への希望とともに、大きな花を咲かせることができるようにと願いが込められているそうです。

公民館といたしましても、令和に込められている意味を尊重し、笑顔と挨拶、楽しさを大切にし、地域の皆様が集い・学び・触れ合う拠点として気軽に来館される場を目指してまいりますので、今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。



館長
大竹 弘 樹

就任ご挨拶



専門部役員・主事業紹介

福祉部

部長 為頭れい子
副部長 狩谷 一枝
// 菱沼 喜夫

【事業内容】

- ・飛羽ノ園納涼祭支援 (8月)
- ・スポーツ健康部との
共催事業 (9月)
- ・ふらっとHIWA (10月)
- ・健康料理教室 (3月)

安全部

部長 藤田 茂
副部長 飯田 勝彦
// 中島 昇

【事業内容】

- ・救命救急講習会 (9月)
- ・各イベント車の誘導
- ・移動教室



スポーツ健康部

部長 小柳 俊幸
副部長 樋口 洋一
// 内藤 栄治

【事業内容】

- ・親睦会 (6月)
- ・福祉部との
共催事業 (9月)
- ・森林浴ハイキング (12月)

環境部

部長 松尾 安子
副部長 佐野 正枝
// 金子 愛子

【事業内容】

- ・公民館花壇花植え (5月)
- ・環境展の資料作成、移動研修
～青少年育成部と合同 (9月)
- ・環境美化花いっぱい運動
(11月)
- ・出前講座 (11月)

文化広報部

部長 根本 信子
副部長 海老澤賢治
// 野口 貴代

【事業内容】

- ・広報紙「ふれあいひろば」
年2回 (10月・3月) 発行
- ・ニューイヤーコンサート開催 (1月)

青少年育成部

部長 飯田美恵子
副部長 菊地 敏子

【事業内容】

- ・チャレンジクラブの協力
(5月～2月)
- ・移動研修～
環境部と合同 (9月)
- ・子ども図画・習字展の開催
(10月～11月)
- ・あいさつ声掛け運動 (7・11月)

全体事業

- ・公民館まつり
- ・四中地区歩く会 (四中地区体協共催)



前期公民館講座

1 アロマで夏対策

夏本番前に、自分の好きな香りで、虫よけと日焼け止め作り。



ステキな香りに包まれて…。

2 春の寄せ植え教室

春のお花で、1回目は寄せ植え、2回目は皆さんと素敵に彩りました。



庭先を華やかに♡

3 基礎代謝アップ体操

基礎代謝アップして、楽しく体を動かし、健康な体作りを。



体を動かして健康に！

4 法制度からみた

「終活～老いに向けての準備」

相続・遺言や後身など知るチャンス。



これで終活は万全。

5 やさしい中国語講座

初心者歓迎！みんなで中国語を学んで、最終日には本場の餃子作り。



本場の餃子は格別。

6 色鉛筆の使い方講座

人気のぬり絵も、色鉛筆の使い方ひとつで楽しく学ぶ。



ぬり絵ってホントに楽しい。

まちづくりの実践を たたえる表彰

土浦市まちづくり市民会議主催の令和元年度「まちづくりの実践をたたえる表彰」の授与式が、8月20日、土浦市役所会議室で行われ、四中地区地域から今年度表彰された個人は、次のとおり（敬称略）。

【個人の部】

●田口 公（桜ヶ丘町）

— 奉仕・青少年育成31年間 —

子ども育成会の活動に長年取り組み、盆踊り大会での踊り指導を実施するなど、町内各種行事に積極的に参加している。老若男女問わず、地域住民の絆をより深めることに大きく貢献している。

●佐々 末吉（国分町）

— 奉仕・環境美化活動29年 —

長年にわたり、町内会の各種行事に率先して参加協力している。また、地域公民館や児童公園などの環境美化に取り組み、住環境改善に貢献している。

III・フォーエース

土浦三三三食堂

二田 幸

にこにこ食堂は、平成三十年一月に社会福祉協議会が始めたコープの「ほぺたん食堂」のスタッフが主体となり、今年の四月から四中地区公民館で始めました。



スタッフは、主に四中地区宅配ボランティア「さくら会」等に参加してもらい十数名での調理と受付に主任児童委員、折紙の講師の全ボランティア十六十八名で運営しています。六月までの三ヶ月平均子ども二十六名、大人三十四名、ボランティアで毎回約八十食となっていています。私たちは子どもだけではなく、保護者や高齢者にも来ていただき食べながら世代間交流を図り、公民館を中心に、月に一回でもわいわい楽しんでいただけばと考えております。今後は今以上の来店者の増加と医療健康、悩み等の相談にも対応出来るようにしていきたいと考えております。【これからは各地区公民館にで

きていくと思われませんが、高知県や埼玉県でも始まるようです。各小学校地区にできれば理想的だと考えます。一

チャレンジクラブ

四中地区の火

担当（指導員） 佐野 隆之

令和元年度のチャレンジクラブの目玉は第2回チャレンジクラブの「鉄道博物館で最新の鉄道技術に体験的にチャレンジしよう！」と第3回チャレンジクラブの「国体拒火イベント（マイグリ方式による火おこし体験）にチャレンジしよう！」だと思っています。

ここでは、第3回の活動について報告します。7月13日(土)に四中地区公民館の自転車置き場前で四つの班に分かれて活動しました。マイグリで火をおこしましたが、なかなか火がつかず40分くらい過ぎてやっと二つの班が成功しました。最初に火がついたのは1班、次に4班でした。どちらのときも「うわーすごい。」という大きな拍手と歓声が響き渡りました。火をひとつにして「四中地区の火」として作り上げ記念撮影をしました。（表紙の写真）

今年度も青少年育成部の皆様方にご協力いただきながら活動します。

同好会紹介

3B体操クラブ

代表 長谷川 雅子

頭文字がBの三種類の道具（ボール・ベル・ベルター）を使って体操をするので、3B体操と言う名前がつけました。

音楽に合わせた簡単なストレッチで、道具を使う事によって、より効果的な動きができます。時々交わす会話も楽しく、笑顔もこぼれます。先生が、わかりやすく、動きの説明をしてくださりながら行うので、初めての方でもすぐ動けます。

いつでも、無料体験ができますので、健康と若さを保ちたい方は、是非参加してみてください。

毎週月曜日、午前十時から二時間程です。バスタオル、室内靴、水分



補給用の飲み物をご持参ください。終わると、体が軽くなり、動きが滑らかになります。

トピックス

小中学生が手作りの 国体応援幟を作製

今年、いきいき茨城ゆめ国体2019（9月28日～10月8日）およびいきいきゆめ大会2019（10月12日～14日）が、県内各地で開催される。そこで、土浦市内で実施される競技（水泳（水球）、相撲、軟式野球）を盛り上げようというこで、年始めに市内の小中学生が、地元茨城の選手団をはじめ全国各地から集まるアスリート達を応援する意味で、手作りの国体応援幟（のぼり）を作製した。

まず、出来上がった四中地区内の小中学生の手作り応援幟を談話室に一堂に集め、3月上旬～中旬にかけてお披露目展示が行われ、各学校の力作幟が来場者の目を楽しませてくれた。



なお、幟は、市内の競技会場に掲出され、各県からのアスリートの競技に対する励みとなったようだった。

わが町内

盛大に夏祭り開催（天川町）

7月13日（土）～14日（日）の二日間、天川町の一大行事に位置付けられている夏祭りが多くの町民の参加と一致団結により、何事もなく盛大に開催されました。



天川町は、一昨年50周年事業を実施し、夏まつりは天川町民の心を一つにする大事なイベントとして長く定着しています。実施にあたっては、星友会・天寿会・ふれあい円クラブ・小中学校子ども育成会・社会学級・天川ふれあい広場・民生児童委員・町内会役員の方々、および町民の皆様の支援・協力があったの賜です。

山車の中でおはやしを奏でる子どもたち、町民が一つになって山車を曳いて町中練り歩き、それを軒先でお出迎えする町民。「今年もいい年でありますように」と共に祈って、お祭りを盛り上げました。令和の時代にも永く引き継がれていきます。

（文化広報部 井坂正典）

わが町防犯活動紹介

一番小さい町内の防犯活動

千鳥ヶ丘町長 山野 純行

千鳥ヶ丘町は、戸数六十軒ほどの小さな町内です。すべての家を見て歩いても、四十分ほどで廻れます。町内は六つの班で構成しています。

高齢率も大変高く、一人暮らしの家庭も多く、防犯パトロール隊の編成も出来ません。そんな状況から、防犯活動開始当初から、各班の班長二軒が月一回、小学生が学校から帰宅して来る午後三時頃、子ども達への安全や防犯の呼び掛けと共に、防犯のぼりの不具合の点検、空き家の異常確認、木の枝や竹の道路への飛び出しなどの他、ゴミの投げ捨て点検など環境面の点検なども合わせて行なっています。

今年度になって、小松町の方から防犯に関する情報をいただきました。

それは、二人組の東南アジア系外国人が留守宅を探して写真を撮っていたそうです。千鳥ヶ丘町は、数年前から空き家が多くなり、二軒の家に他人が一時居住み着いていたことが確認されています。空家の数は徐々に減っています。空家の数は徐々に減っています。周囲の人達で注意しながら見廻っています。今後とも防犯に関する情報は全戸の周知に努力します。

事務局より

四中地区公民館は、地域の人たちが気軽に集い、学べる施設づくり、また、コミュニティ活動や福祉活動の拠点としての役目を果たすべく職員一同努力をしております。

今年も、秋に公民館まつりを予定しております。皆様が楽しんでいただけるよう準備を進めておりますので、沢山の方のご来場をお待ちしております。

職員紹介

館長（所長）	大竹 弘樹
主任	藤田 綾子
指導員	佐野 隆之
社会福祉協議会	橋本 奈苗
窓口事務	里村 厚子
窓口事務	於本 園恵

編集後記

「ふれあいひろば」は、今回お陰様で第30号の発行となりました。長年の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。四中地区の様々な活動や頑張りをお伝えすることによって、更なる地域のつながりが深まれば幸いです。お忙しい中、執筆にご協力して下さいました方々に深く御礼申し上げます。（稲辺）